

名古屋教育記者会各社

名古屋大学大幸キャンパスにおける土壌汚染調査結果について

本学の大幸キャンパスでは現在、留学生宿舎の整備を予定しております。

このたび、当該建設予定地において、土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査を実施した結果、一部の箇所から指定基準を超える物質が検出されましたので、土壌汚染対策法に基づき名古屋市へ、平成29年3月27日に報告書を提出しました。この調査結果等についてお知らせいたします。

1. 土壌汚染調査結果について

土壌の状況調査の結果、2箇所から基準を超えるふっ素及びその化合物、砒素及びその化合物が検出され、濃度は別添表のとおりです。

汚染場所は、別添図面のとおりです。

2. 今後の対応

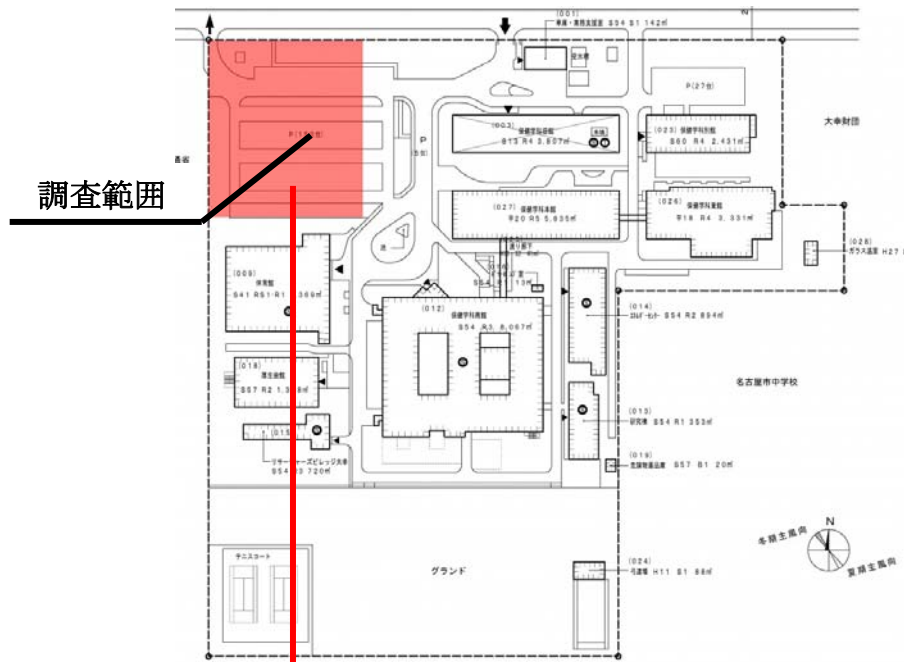
今回の土壌汚染にいたる原因は不明ではありますが、今後、土壌汚染対策法に基づき適切に処理する予定としております。

本件に対する問い合わせ先
名古屋大学施設管理部
施設整備課長 園田 秀久
TEL：052-789-2122

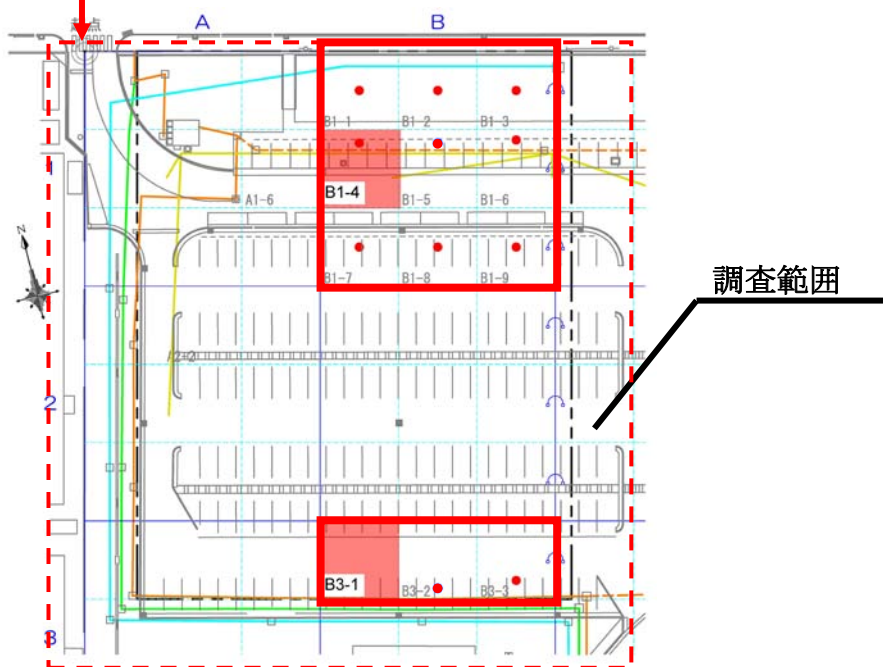
大幸団地土壤汚染調査範囲、調査結果について

調査結果

基準超過物質	検出濃度	指定基準	検出場所（対策深度）
ふっ素及びその化合物 （土壌溶出量）	1.7mg/L	0.8 mg/L 以下	B1-4（1.5m）
砒素及びその化合物 （土壌溶出量）	0.016mg/L	0.01mg/L 以下	B3-1（0.6m）



大幸キャンパス配置図



調査範囲拡大図